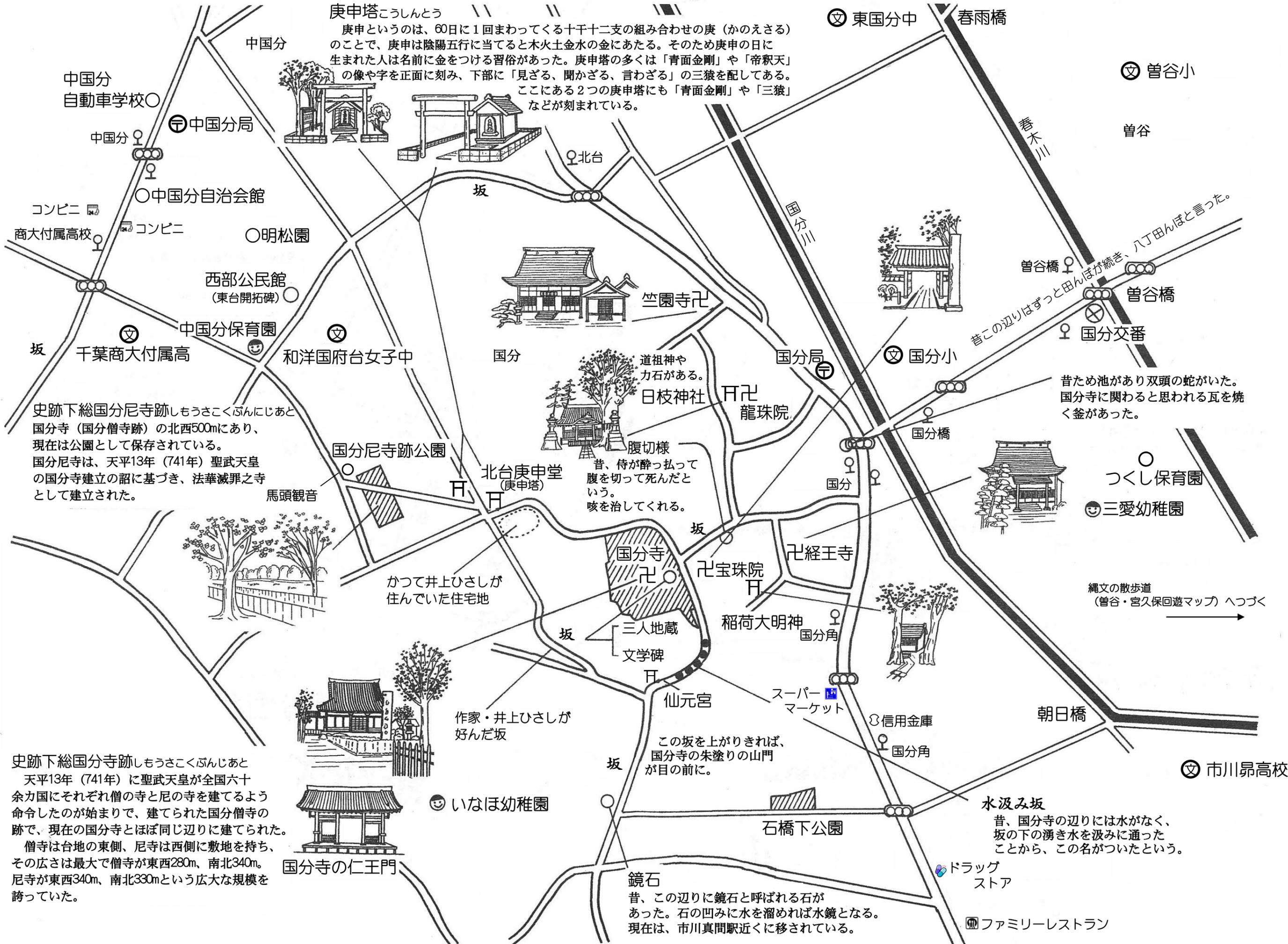
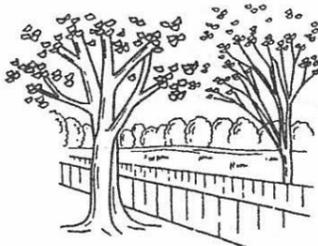


庚申塔こうしんとう

庚申というのは、60日に1回まわってくる十干十二支の組み合わせの庚（かのえさる）のことで、庚申は陰陽五行に当てると木火土金水の金にあたる。そのため庚申の日に生まれた人は名前に金をつける習俗があった。庚申塔の多くは「青面金剛」や「帝釈天」の像や字を正面に刻み、下部に「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿を配してある。ここにある2つの庚申塔にも「青面金剛」や「三猿」などが刻まれている。



史跡下総国分尼寺跡しもうさこくぶんじあと
国分寺（国分僧寺跡）の北西500mにあり、
現在は公園として保存されている。
国分尼寺は、天平13年（741年）聖武天皇
の国分寺建立の詔に基づき、法華滅罪之寺
として建立された。



史跡下総国分寺跡しもうさこくぶんじあと
天平13年（741年）に聖武天皇が全国六十
余カ国にそれぞれ僧の寺と尼の寺を建てよう
命令したのが始まりで、建てられた国分僧寺の
跡で、現在の国分寺とほぼ同じ辺りに建てられた。
僧寺は台地の東側、尼寺は西側に敷地を持ち、
その広さは最大で僧寺が東西280m、南北340m。
尼寺が東西340m、南北330mという広大な規模を
誇っていた。



国分寺の仁王門

国分尼寺跡公園

かつて井上ひさしが
住んでいた住宅地

作家・井上ひさしが
好んだ坂

いなほ幼稚園

腹切様
昔、侍が酔っ払って
腹を切って死んだと
いう。
咳を治してくれる。



道祖神や
力石がある。

昔、侍が酔っ払って
腹を切って死んだと
いう。
咳を治してくれる。

三人地藏
文学碑



仙元宮

この坂を上りきれば、
国分寺の朱塗りの山門
が目の前に。

鏡石
昔、この辺りに鏡石と呼ばれる石が
あった。石の凹みに水を溜めれば水鏡となる。
現在は、市川真間駅近くに移されている。

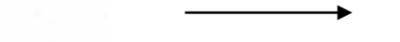


昔、この辺りに鏡石と呼ばれる石が
あった。石の凹みに水を溜めれば水鏡となる。
現在は、市川真間駅近くに移されている。

昔ため池があり双頭の蛇がいた。
国分寺に関わると思われる瓦を焼く
釜があった。



縄文の散歩道
(曾谷・宮久保回遊マップ) へつづく



水汲み坂
昔、国分寺の辺りには水がなく、
坂の下の湧き水を汲みに通った
ことから、この名がついたという。



ドラッグ
ストア
ファミリーレストラン

